



C：ローマ数字で100を表す

◆巻頭言 手製日記は道しるべ

新春にあたり、皆様のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。

今年は平成最後の年で新元号元年にあたる折り目の年です。私達の活動も16年目を迎え次の目標年20年目には古里の森の姿（皆様の心の中の森）を見られるようユックリと無理をせず、活動を継続して行きましょう。

私事ですが、里山の保全活動を始めた頃よりキャンパスノート（100枚綴り）に1ヶ月分として見開きページで2枚分、1ページを備忘録と記事欄、もう1ページがカレンダー部分で、1日の出来事を箇条書き風に見開きの1行に書ける手製日記帳を始めました。この日記帳での一番の効用として、これだけは自信を持ってお話出来ると思う点があります。それは、年の瀬に新年度の日記帳カレンダーを作成する時、本年度、前年度を振り返り検証しながら新年度のカレンダーに各月の行事、慶弔やり残した事案、今年やってみたい事等を各月に記載して置くことが出来る点です。過ぎた事をクヨクヨせず、新しい年を前向きに過ごす為の特効薬になってくれています。

（渡邊 富男）

次回の予定 ●平成31年1月・2月の活動予定

※活動可否の連絡に関して：原則、小雨決行です。

中止の場合は緊急連絡網（am7時頃）で連絡致します。

1) 1月13日（日）9時半～14時半 ・集合場所：池の下倉庫

- ・活動始め（いっしんどう広場での安全祈願祭）
- ・作業内容：区域A（尾根道大丸エリア）に新コトラードの設定。
：新コトラードのスギの立木本数を10本までに間伐を行なう。
：チルホール作業の撮影。

◇公田竹林へ移動（昼食）

：自然体験教室用竹材の切り出しと区役所への搬入。

※お願い 簡単に細工できる竹細工を各自検討してきて下さい。

- ・持ち物：竹引きノコ、ノコ、ナタ、お弁当、飲料水、その他必需品。

【持参器具】チェーンソー、チルホール、巻き尺、ポール、杭（4本）

救急箱、シート、作業旗、ロープ、カケヤ

2) 1月26日（土）9時～14時半

※お願い 分担等の打合せを行ないますので9時に集合して下さい。

- ・集合場所：公田竹林西駐車場（男性陣）・本郷地区センター（女性陣）
- ・作業内容：栄区主催『自然体験教室』の受託業務

(タイムスケジュール)

- : 9時半頃、参加者の集合(班割、体験教室の説明等)
- : 10時~11時 竹の伐採実習
- : 11時以降、区役所へ移動 お箸作り
- : 12時~12時45分 昼食(女性陣お手製のとん汁付)
- : 12時45分~14時半 竹細工教室
- : 片付け(竹材の残品を竹林に戻す)

3) 1月26日(土) 17時半~19時半

- ・新年会(親睦と鋭気を養いましょう)
- ・場所 大船 寿司居酒屋『海福』本店

4) 2月10日(日) 9時半~14時半 ・集合場所: 池の下倉庫

- ・作業目的: 林床の保全作業と間伐実習講座の開催。

※ 横浜レンジャーズの体験講座の受入れ。

- ・作業場所: 区域A乃至B(交付金対象可否により選定)
- ・作業内容: アオキ・シロダモ・罹患木、弱小木の除伐。
- ・持ち物 : 常備具(ノコ・ナタ・カマ)、弁当、飲料水、その他必需品。

【持参器具】作業旗、シート、チェーンソー、救急箱、ロープ、刈払機

5) 2月24日(日) 9時半~14時半 ・集合場所: 池の下倉庫

- ・作業目的: 多様性保全型針広林を目指した保全作業。
- ・作業場所: 中尾根作業エリア休憩所上部と大丸広場側
- ・作業内容: アオキ・シロダモ・罹患木・枯れ木の除伐。
- ・持ち物 : 常備具(ノコ・ナタ・カマ)、弁当、飲料水、その他必需品。

【持参器具】作業旗、シート、チェーンソー、救急箱、ロープ、チルホール

(31年1,2月号の原稿に関し、上記活動報告は三島清和氏、巻頭言は佐谷光雄氏、リレートークは山田忠浩氏です。原稿の締め切りは31年2月25日(月)、小宅氏迄宜しくお願いします。)

欠席される方は、メール(TOKAMI6666@aol.com)又は電話(894-2800)で山上部会長迄。

【瀬上さとやまもりの会 活動日誌】

(1) 平成30年11月11日(日)

参加者: 浅見、石渡、伊藤、枝村、佐谷、高、高島、武内、竹内、中塚(事務局)、長谷川三島、山上 計13名、ボラ塾生 3名

○塾生指導は三島氏と佐谷氏が当たる。

○藁を使った苗床の点検

○前回の続き、旧研修地での除伐アオキ、笹刈等を行う。休憩を挟み

11時50分迄作業してボラ塾生は終了山を下った。

○昼食後直ぐに作業再開、チェーンソーを使用し玉切り、太いシロダモ等の除伐に当たった。

○12月9日、行政主催の“瀬上池カイボリ”と活動日がバッティングする件は全員でカイボリに協力する。時間9時~15時なので要注意。又参加人数が多かった場合は適宜通常活動とする。



苗床の点検



アオキの伐採



チェーンソーによる玉切り

(2) 平成 30 年 11 月 25 日 (日)

参加者：浅見、三島、渡邊、佐谷、高島、岡、酒巻、長谷川、山上、小宅、伊藤、計 11 名

活動場所：大丸広場から 上の斜面地

○作業地へ移動 大丸広場にシートを敷き、活動地へ、斜面の急角度に手間取りながらも 笹やアオキ、シロダモを除伐しながら、下の川辺迄下った。

○渡邊、三島、浅見の各氏はチェーンソー利用しながら散策路から入らない為の柵を作り、設置した。

○昼食時打ち合わせ、来年仕事始め【1月13日】に いっしんどうでの安全祈願の後、作業地大丸広場内で適正数の杉除伐を行い、公田竹林へ移動、(1月26日土曜日)実施予定の自然教室準備する。

○同日【11/26】夕には新年会を予定



急斜面を活動地へ



アオキ、シロダモの除伐



散策路の柵作り

(2) 平成 30 年 12 月 1 日 (土)

晴れ 3 部会合同除伐 時間 8 : 3 0 ~ 1 1 : 1 5 寒かった。

参加者：樹林地から 佐谷、山田、伊藤 の 3 名、他部門から 中塚、柴田、内田、上村 等 計 1 0 名、

○作業内容：3 部会合同のコイタチ川の除伐作業

集積場所を 4 か所設け順次川中での切り出しを引き上げ、まとめた。
を要請する。

(4) 12 月 9 日 (日) 曇り 寒い 瀬上池 カイボリ 生物調査

参加者：浅見、石渡、伊藤、岡、枝村、小宅、小嶋、酒巻、佐谷、高島、竹内、戸賀澤 長谷川、山上、山田 計 15 名

当初カイボリ班と山作業班のつもりだったが、皆それぞれ3班(網ですくう、運ぶ、種類の同定)に分かれ手伝った。9:00~11:30、昼食 12:00~13:40 終了散会



瀬上の池 下に集合



カイボリ開始



種類に分別

◆ リレートーク

都合によりお休みします

◆ 編集後記

先日、「木枯し紋次郎」で知られている中村敦夫氏の朗読劇「線量計が鳴る」を見ました。原子力発電は安全、環境汚染のない効率的な発電、資源のない日本には最適な発電などと吹き込まれて、ただただ信じていた。原発の配管工として働き、内部告発をすることにより退職を迫られて退職。退職後、飯館村で老後を過ごそうと移転したあとの、大震災。東日本大震災発生により安全神話は崩れ去り、情報を都合の良いように捻じ曲げて来た、御用学者、発電所幹部、電力会社、政府など、体制側に対する憤りがほとばしる2時間の語りの公演でした。

原発の水素爆発による放射能被害を正確に伝えず、後手後手対策の政府、電力会社。福島原発の問題が解決していないのに、原発を売ろうとして、自然エネルギー採用に前向きでない政府。一体、何に重きを置いての政治だろと疑問に思っていると、「最後は、金めでしょう」と言った大臣の顔を思い出してしまいました。

(押木満雅)

脚本・出演 中村 敦夫
朗読劇 **線量計が鳴る**
～元 原発技師のモノローグ～
2018年12月16日(日)
鎌倉生涯学習センターホール

朗読劇「線量計が鳴る」プログラム

【第一場】
福島原発の周りで生まれ育ち、福島第一原発で働き、原発事故によってすべてを失った主人公の自分の物語を独白

【第二場】
原発が日本に入ってきた経緯や事情
原発とは何なのか？
福島原発事故の実態について
(休憩 15分)

【第三場】
チェルノブイリ原発事故現場の調査体験
被爆による医学上の問題と現実
放射線医学者たちの姿

【第四場】
原発を稼働させる本当の理由と狙い
原発稼働に際する原子力カマフラの仕人たちの相聞詞